

大槌学園小学部 学園長 大森 厚志様

NPO法人フリースクールむさしの学園、通信制むさしの高等学院（埼玉県技能連携指定校）の代表、望月泰宏と申します。

桜も終わりになり、初夏の緑の鮮やかさを増しつつある今日この頃ですが、校長先生をはじめ諸先生方におかれましては毎日お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

3月11日。望月が家に向かって歩いているとき、突然、地面が揺れました。「何？」と思い、辺りを見回したら、信号機がすべて消えていました。地震！！とっさに望月は自宅介護で寝たきりの母親のことが気になり、急いで家に走ったことを今でも鮮明に覚えています。

その年の3月20日、学園・高等学院の生徒は自分たちの活動用の備品購入資金を得るための「文化祭&バザー」を企画していました。しかし、東日本大震災！！子どもたちは何度も会議を行い、「こんな時、バザーなんてやるのはよくないよ」「せっかくここまで来たのだからやりたいよ」、喧々諤々でした。望月は「バザーの収益金を東日本大震災復興支援のために使う、ただし、今回限りの支援と考えるのだったら止めた方が良い。震災後の大変さはこれからも長い間続くはず。今後、この活動を継続的に行う気持ちがあるのなら実施しよう」とい意見を出しました。子どもたちは大賛成、そして実施。その後、高等学院の卒業生の一人が大槌町出身ということを知り、大槌小学校に図書費として寄付しよう！ということになり、現在に至っています。現在までの経過はチラシの裏面に書かれていますのでご参照ください。

東日本大震災のことを風化させないために、今年も平成29年3月12日に「～東日本大震災復興支援事業～むさしの祭」を行いました。

そして、バザー、生徒手作りのお好み焼き中心のカフェ、生徒手作りのアクセサリー販売コーナーの売上金、募金等で「34,570円」の収入を得ました。昨年同様、金額として僅かですが大槌学園の図書購入にお遣い頂ければと考え、お送りいたします。お受け取り頂ければ、学園・高等学院の子どもたちは大喜びだと思います。

なお、①当日のチラシ、②当日の写真、③当日の様子についての文章も同封いたしました。子どもたちの活動を少しでもご理解頂ければ嬉しく思います。

最後になりましたが、大槌学園小学部の生徒、学校職員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

追記：お手数ですが、同封の領収書にご記名、ご捺印の上、同封の封筒にてご返送くださいますようお願い致します。

平成29年5月吉日

<むさしの学園ホームページ> <http://www.manabi-21.com>

<むさしの高等学院ホームページ> <http://www.musashino-highschool.com>

NPO法人フリースクールむさしの学園・通信制：むさしの高等学院
代表理事 望月泰宏

住所 353-0007 埼玉県志木市柏町4-5-28

連絡先 048-487-0006